

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
久慈広域連合	久慈広域連合 (久慈市、洋野町、野田村、普代村)	平成27年4月1日～令和4年3月31日	平成27年4月1日～令和4年3月31日

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現 状 (割合※1) (平成26年度)	目 標 (割合※1) (令和4年度) A	実 績 (割合※1) (令和4年度) B	実績/目標 ※2	
排出量	事業系 総排出量	5,207t	4,546t (-12.7%)	4,201t (-19.3%)	92.4%
	1事業所当たりの排出量	1.8t	1.5t (-16.7%)	1.6t (-11.1%)	106.7%
	生活系 総排出量	15,566t	13,585t (-12.7%)	13,860t (-11.0%)	102.0%
	1人当たりの排出量	250kg/人	238kg/人 (-4.8%)	224kg/人 (-10.4%)	94.1%
合 計 事業系生活総排出量合計	20,773t	18,131t (-12.7%)	18,061t (-13.1%)	99.6%	
再生利用量	直接資源化量	1,902t (9.2%)	2,788t (15.4%)	1,840t (10.2%)	16.0%
	総資源化量	2,389t (11.5%)	3,179t (17.5%)	2,253t (12.5%)	16.1%
エネルギー回収量	エネルギー回収量(年間の発電電力量)	- MWh	- MWh	- MWh	
最終処分量	埋立最終処分量	3,258t (15.7%)	2,780t (15.3%)	2,345t (13.0%)	679.1%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量について、(実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成25年度)	目 標 (令和4年度) A	実 績 (令和4年度) B	実績/目標 ※3	
総人口	62,885人	57,344人	54,043人	-	
公共下水道	汚水衛生処理人口	10,804人	16,170人	14,322人	65.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(17.2%)	(28.2%)	(26.5%)	84.5%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	4,253人	6,610人	3,796人	-19.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(6.8%)	(11.5%)	(7.0%)	4.3%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	9,297人	11,752人	10,049人	30.6%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	(14.8%)	(20.5%)	(18.6%)	66.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	38,531人	22,812人	25,876人	80.5%

※3 (実績の割合-現状の割合)/(目標の割合-現状の割合)を記載。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	ごみの有料化	久慈市	構成市町村が共通の協議の場を継続して持ち、実施する方向で検討を進める。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・ごみの有料化を視野に入れた減量施策として、令和2年4月から可燃・不燃ごみに限り指定ごみ袋制度を導入した。 ・県主催で行われている「家庭ごみ有料化・減量化研究会」へ出席している。
			洋野町			・県主催で行われている「家庭ごみ有料化・減量化研究会」へ出席している。
			野田村			・県主催で行われている「家庭ごみ有料化・減量化研究会」へ出席している。
			普代村			・県主催で行われている「家庭ごみ有料化・減量化研究会」へ出席している。
	12	新たな分別品目の検討	久慈市	使用済み小型家電や雑がみなどの新たな品目の分別収集及び資源化を検討する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・平成28年1月から使用小型家電のボックス回収を開始した。 ・平成29年1月から雑がみの集積場での分別収集を開始した。
			洋野町			・平成28年1月から使用小型家電のボックス回収を開始した。 ・平成29年1月から雑がみの集積場での分別収集を開始した。
			野田村			・平成28年1月から使用小型家電のボックス回収を開始した。 ・平成29年1月から雑がみの集積場での分別収集を開始した。
			普代村			・平成28年1月から使用小型家電のボックス回収を開始した。 ・平成29年1月から雑がみの集積場での分別収集を開始した。
	13	生ごみの減量化	久慈市	コンポスター購入の助成等、生ごみの自家処理機器への助成メニューを拡大する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・平成23年7月から久慈市衛生班連合会が実施するコンポスター容器の共同購入事業に対し、コンポスター容器1基あたり2千円の補助を実施している。
			洋野町			・平成23年3月から実施し、平成27年から令和3年までの助成件数は3件である。 ・町のホームページに掲載し、周知を図った。
			野田村			・野田村衛生班連合会と連携し、コンポスト容器等の購入助成を行った。
			普代村			・平成22年度から普代村衛生班連合会においてコンポスト等購入の助成を行っている。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	14	環境教育・普及啓発・助成	久慈市	各種普及啓発事業を行う。また、住民団体が行う分別区分の普及啓発など、環境教育の活動に対し、助成を行う。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 指定ごみ袋制度導入時には要望に応じて地域団体に対して説明会を実施し、導入の目的や見込まれる成果等について解説した。 常時出前講座を受け付けており、要望に応じて地域団体に出前講座等を実施した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> 各種地域団体などを対象に、出前講座を開催し、ごみ減量・リサイクル意識の向上を図った。 ごみ分別ハンドブック、ごみ収集カレンダーの全戸配布及び町ホームページへの掲載。
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> 住民向けのごみ分別講習会や、子ども会での分別講習会を実施し、ごみ減量・リサイクル意識の向上を図った。 小学校の社会科副絵本改定を支援した。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> 住民向けのごみ分別講習会等を実施し、ごみ減量・リサイクル意識の向上を図った。
	15	マイバッグ運動・レジ袋対策	久慈市	マイバッグの持参を呼びかけ、レジ袋の削減を推進する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 常時受け付けている出前講座の中で活動の効果や利用促進について説明した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> レジ袋有料化に伴い、広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行った。
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> ホームページ、広報によりレジ袋有料化をお知らせし、マイバッグ利用の呼びかけを行った。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> レジ袋有料化に伴い、広報誌によりマイバッグ利用の啓発を行った。
	16	再使用の推進	久慈市	衣類や生活品の再使用の機会を増加し、支援する施策を進める。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年6月から古着のボックス回収を開始し、平成28年6月からは久慈広域連合に事業を移管して実施している。 常時受け付けている出前講座や市が発行する刊行物の中でリユースにおける効果や利用促進について説明した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> 平成26年7月から古着ボックス回収を開始し、平成28年6月からは久慈広域連合に事業を移管して実施している。
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> 生活品の再使用の機会を増加し、支援する施策を進めることはできなかった。 平成25年12月から古着の無料回収を実施し、平成28年6月からは久慈広域連合に事業を移管して実施している。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> 平成26年5月から古着のボックス回収を開始し、平成28年6月からは久慈広域連合に事業を移管して実施している。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	17	住民意識の高揚	久慈市	家庭等から汚濁負荷量の削減のために、パンフレットやポスター、広報紙等で住民の排水処理に係る意識を高める。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・産業まつりなどのイベントや、広報誌を利用して、排水処理に関する普及活動を行った。 ・窓口で来庁者に向け、下水道に関するパンフレットの提供を行った。
			洋野町			・未実施である。
			野田村			・未実施である。
			普代村			・未実施である。
	18	住民参加の生活排水処理対策を推進	久慈市	三角コーナーや微細目ストレーナ、廃食用油を拭き取るキッチンペーパー等の有効手段を住民に周知し、生活排水処理対策を推進する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・産業まつりなどのイベントで、生活排水処理対策をパネル掲載やクイズ形式で周知した。 ・窓口で排水処理対策が掲載されたパンフレットの提供を行った。 ・広報誌に排水処理対策の掲載を行った。
			洋野町			・広報誌により、下水道には油分や異物を流さない等の啓発を行った。
			野田村			・未実施である。
			普代村			・未実施である。
処理体制の構築、変更に関するもの	21	多量排出事業者の減量化・再資源化計画策定	久慈市	地域の多量排出事業者への個別指導を開始し、減量化の推進を求めていく。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・未実施である。
			洋野町			・未実施である。
			野田村			・未実施である。
			普代村			・未実施である。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	22	浄化槽整備の推進	久慈市	公共下水道等が整備されていない地域における浄化槽の整備を推進する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・循環型社会形成推進交付金を利用した浄化槽設置整備事業補助金により市民へ浄化槽整備の推進を図った。 ・ホームページや広報誌で浄化槽の整備促進に向けた普及啓発を行った。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の整備を推進した。
			野田村			平成27年度～令和3年度 196基
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> ・合併処理浄化槽整備基数 平成27年度～令和3年度 15基 ・合併処理浄化槽整備基数 平成27年度～令和3年度 62基
処理施設の整備に関するもの	1	汚泥再生処理センター整備	久慈広域連合	し尿等を適正に処理し、汚泥の資源化及び有効利用を促進する。	平成30年度～令和3年度 (平成30年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈地区汚泥再生処理センターを整備した。 竣工年月：令和4年3月 施設種別：有機性廃棄物リサイクル推進施設 処理方式：膜分離高負荷脱窒素処理方式 処理能力：105kℓ/日 資源化の方法：堆肥化
	2	ごみ焼却施設の基幹的設備改良	久慈広域連合	基幹的設備改良	平成30年度～令和2年度 (平成30年度～令和2年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈地区ごみ焼却場の基幹的設備改良工事を実施した。 完了年月：令和3年3月 施設種別：エネルギー回収施設系 処理方式：ストーカ炉 処理能力：120 t / 日 余熱利用：無
	3	粗大ごみ処理施設のアルミ選別機増設	久慈広域連合	アルミ選別機整備	平成30年度 (平成30年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・久慈地区粗大ごみ処理場にアルミ選別機を整備した。 完了年月：平成31年3月 施設種別：マテリアルリサイクル施設系 処理方式：破碎、選別（磁性物・アルミ） 処理能力：30 t / 5h
施設整備に係る計画支援に関するもの	31	1の計画支援	久慈広域連合	<ul style="list-style-type: none"> ・施設整備計画 ・PFI導入可能性調査 ・地質調査 ・測量 ・環境影響評価 ・事業者選定支援 ・埋蔵文化財調査 	平成27年度～令和元年 (平成27年度～令和元年)	<ul style="list-style-type: none"> ・基本計画修正業務の実施（平成27年度） ・事業手法等調査検討業務の実施（平成27年度） ・地質調査業務の実施（平成27～28年度） ・測量調査業務の実施（平成27～29年度） ・環境影響評価業務の実施（平成27～30年度） ・事業者選定支援業務の実施（平成29～30年度） ・埋蔵文化財発掘調査支援業務の実施（令和元年度）

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	32	2の計画支援	久慈広域連合	・発注仕様書作成	平成29年度 (平成29年度)	・発注仕様書作成支援事業の実施（平成29年度）
廃棄物処理施設における長寿命化総合計画策定支援に関するもの	41	2の長寿命化総合計画策定支援	久慈広域連合	・長寿命化計画	平成28年度 (平成28年度)	・発注仕様書作成支援事業の実施（平成28年度）
その他	51	再生利用品の需要拡大事業	久慈市	住民、事業者及び行政が一体となった協働の取り組みを推進する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・未実施である。
			洋野町			・未実施である。
			野田村			・資源集団回収団体に対して、回収量に応じて奨励金を交付することにより、古紙等紙類、鉄くず類、ダンボール等の資源再生利用推進の一助とした。
			普代村			・未実施である。
	52	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	久慈市	廃家電の適正処理の指導及びリサイクルに対する意識啓発を行う。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	・常時受け付けている出前講座、市が発行している刊行物や市ホームページなどで適正処理について普及・啓発を実施した。 ・問合せの多い物やイレギュラーな処分方法の物はウェブ上のごみ処理検索システムを随時更新して住民周知に努めた。
			洋野町			・ごみ分別ハンドブックや町のホームページに掲載し、適正処理及びリサイクル意識の向上を図った。
			野田村			・村のごみ分別収集計画表やホームページなどで指定業者の掲載、廃家電のリサイクル方法、小型家電の排出方法等を周知啓発した。
			普代村			・ごみ分別パンフレットや村ホームページに掲載し、適正処理について普及・啓発を行った。

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施設の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
	53	不法投棄対策	久慈市	分別排出を周知徹底し、不法投棄防止のためのパトロールを実施するなど監視を強化する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 久慈市衛生班連合会から推薦を受けた10名を環境パトロール員として各地区に設置し、6月から12月にかけて不法投棄等のパトロールを実施した。 要望に応じ、不法投棄の啓発看板等を住民に貸し出した。 市が発行する刊行物や市ホームページなどで適正処理について普及・啓発を実施するとともに、野外焼却や不法投棄についても注意喚起を実施した。 岩手県からの廃棄物適正処理監視等推進事業の協力要請に応じ、県北広域振興局や関係市町村と共に検討会やパトロールを実施した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄監視員によるパトロールを実施し、監視体制の強化を図った。また、広報誌、チラシ等による啓発、投棄常習場所への不法投棄防止看板や監視カメラ（ダミー）を設置し、不法投棄防止に努めた。
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄が多発している地点に対して、不法投棄禁止看板を設置し、監視を強化した。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄禁止看板を設置し、監視を強化した。 県北広域振興局等と共にパトロールを実施した。
	54	災害時の廃棄物処理に関する事項	久慈市	災害廃棄物の速やかな撤去と適正処理を行うための計画策定と体制の整備を行う。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 計画策定については、平成23年東日本大震災による津波被害、平成28年台風10号災害及び令和元年台風19号災害を受け、内容を精査しながら現在策定中である。 体制の構築については、平成30年に岩手県産業廃棄物協会県北支部と「災害時における廃棄物の処理等に関する協定書」を交わし、有事の際の協力体制を確立した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> 災害廃棄物処理計画策定（令和3年10月）
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> 令和4年3月に、災害時の廃棄物等を迅速かつ、適正に処理するために必要な事項を定め、災害廃棄物処理計画を策定した。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> 平成23年東日本大震災、平成28年台風10号災害及び令和元年台風19号災害を受け、内容を精査しながら現在策定中である。
	55	浄化槽の適正な維持管理	久慈市	適正な保守点検・清掃の実施、定期検査の受検等を浸透させる。また、単独処理浄化槽については、合併処理浄化槽等への転換を指導する。	平成27年度～令和3年度 (平成27年度～令和3年度)	<ul style="list-style-type: none"> 循環型社会形成推進交付金を利用した浄化槽設置整備事業補助金により単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への転換に寄与した。
			洋野町			<ul style="list-style-type: none"> 適正な保守点検・清掃の実施、定期検査の受検等を浸透させた。また、単独処理浄化槽については、合併処理浄化槽等への転換を指導した。
			野田村			<ul style="list-style-type: none"> 既存単独処理浄化槽等から転換整備を推進するため、設置費用の一部を補助した。
			普代村			<ul style="list-style-type: none"> 適正な保守点検・清掃の実施、定期検査の受検等を浸透させた。 単独処理浄化槽について、合併処理浄化槽等への転換を指導した。

3 目標の達成状況に関する評価

(ごみ処理)

【排出量】

- ・総排出量合計の目標18,131 t に対して実績18,061 t となり、目標を達成した。
- ・事業系総排出量の目標4,546 t に対して実績4,201 t と目標を達成した一方で、生活系総排出量は目標13,585 t に対して実績13,860 t と目標を達成できなかった。

【再生利用量】

- ・直接資源化量の目標2,788 t に対して実績1,841 t、総資源化量の目標3,179 t に対して実績2,216 t と、どちらも目標を達成できなかった。

【最終処分量】

- ・埋立最終処分量の目標2,780 t に対して実績2,345 t となり、目標を達成した。

(生活排水処理)

- ・公共下水道、集落排水施設、合併処理浄化槽それぞれの目標は達成できなかった。
- ・一方で、公共下水道の整備拡充や合併処理浄化槽の整備促進などにより、普及率としては平成25年度の現状38.7%に対して令和4年度実績52.1%と着実に増加している

(都道府県知事の所見)

事業系ごみの1事業所当たりの排出量および生活系ごみの総排出量について、目標は達成されていないが、平成26年度時点と比較するとどちらも減少していることから、今後の推移を注視しつつ、引き続き発生抑制施策等の対策に取り組んでいただきたい。
なお、ごみの排出量削減に向けた対策として、ごみの有料化について引き続き検討していただくとともに、地域の多量排出事業者への個別指導の実施についても検討していただきたい。
県においても、課題解決に向け、必要に応じて助言する等して支援していくこととしたい。